

■台風に備えよう

①台風はどうやってできるの？

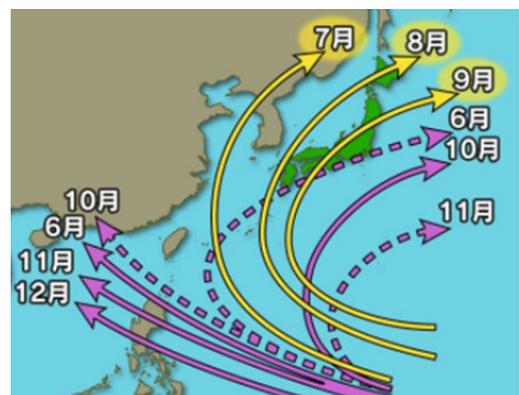
台風は、赤道に近い温かい海の上で発生します。

南の温かい海は、水の温度が高いことから、雲のもとになる水蒸気ができやすく、雲どうしがくっつきながら どんどん大きくなっていき、うずまき状の大きな雲のかたまりになっていきます。そして、その雲のまわりの風の強さが「風速 17m/s※風に向かって歩けない状態」になったものを「台風」とよびます。

②台風が来る前に

日本の近くに台風がやってくることが多いのは、8～9月にかけての間です。

普段から洪水や土砂崩れなどの災害から身を守るために、自治体のハザードマップの確認や非常用品の準備をしておきましょう。



出典：日本気象協会 HP

③お役立ちサイトのご紹介

台風への普段からできる防災対策、接近した時や接近したあとの行動を確認し、危険から身を守りましょう。

日本気象協会運営サイト

[台風に備える - 日本気象協会 tenki.jp](https://www.tenki.jp) ◀詳細はここをタップ